平成20年度
NACSIS-CAT/ILL**ワークショップ**

目録イメージアップ大作戦

大学経営陣のハートをワシヅカミ

第1班

石井じゅん, 勝本加奈子, 鈴木恵津子, 椋毛　希

とんでもないことが！

次年度、目録係ベテランのB子
は教務課に異動！

しかも、
安い業者！

経費節減により、
目録は外注！

A子は悩む

目録の大切さ、目録をとる人の育成をどうやったら、上の人に訴えられるのだろ・・・

問題点を整理してみよう

組織

- 人件費＝外注？
- 年度内の体制しかみえない
- 契約期間が短く、経験が積みにくい

情報共有･統一化

- コーディングマニュアル･目録規則等だけでは、問題が解決できない
  →マニュアルの記述事例を増強？
- ローカルについても、ルールのマニュアルが整備されていない
- 分類の付与方法を整理する必要がある

個人のスキルアップ

- 目録規則の知識が足りない
- スキルアップの意識が低い
- 図書館間の交流がなくて相談できない
- 様々な事例について研修する手段がない
  →過去のFAQ事例によるトレーニング？

NACSIS-CAT

- 書誌を登録しない方針になっている
- 新規書誌作成･書誌調整の敷居が高い
- 雑誌所蔵のアップロードができないので、継続のプラスをとってしまう

システム

- ローカルデータ重複書誌の同定作業が大変
  （大学統合などにより、なき別れ書誌が大量に発生してしまった場合）
- 定期的なシステムリプレイスがない
  （図書館システムを買取りで使用している場合）

こまっちゃう、
うふ ♡

こまっちゃう、うふ♡
とか、言っている場合ではないわよ！

3分で、
具体的に、
数値や図を使い、
専門用語は使わずに
説明せよ！

このままでは
いけない〜！！

企画力

- 整理計画
- 遡及計画
- 研修計画
- 分担計画（他業務とのバランス）
- 計画書など書き方研究

目録業務マネージメントに必要な力（スキル）

説明力

- 大学のPRになっているという宣伝材料として上層部に説明
- 大学の説明責任と目録
- 上層部への説明方法のトレーニングが必要
- 上層部への研修が必要（NIIへお願い？）
- 目録業務への理解を得る必要
- 分析表は係回覧するだけでなく説明資料として活用

本当に大切なことって・・・

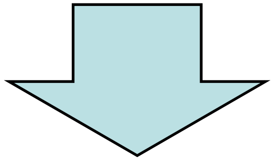
やっぱり目録じゃない？

そもそも目録業務って何？

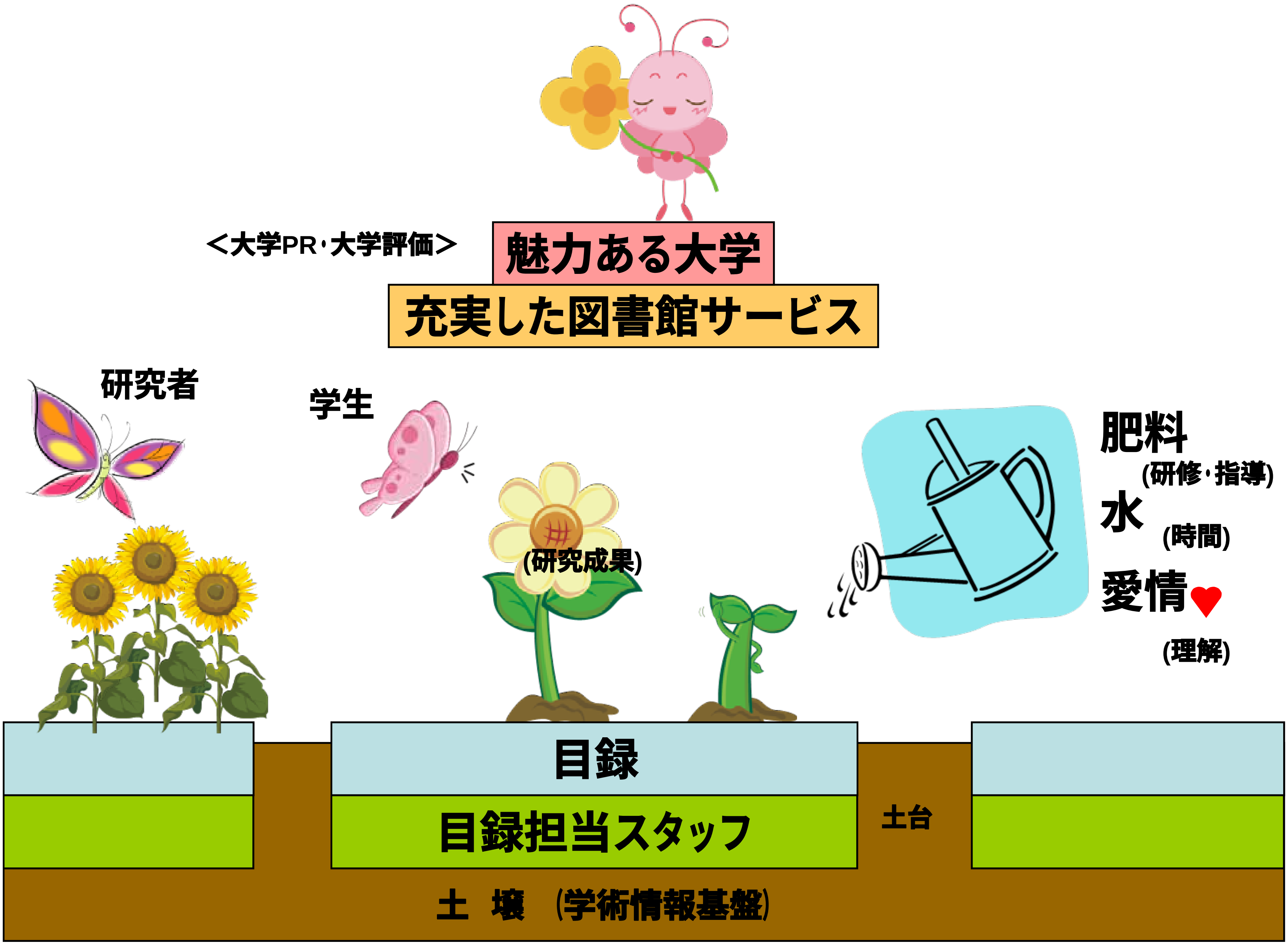
なぜ目録をとるのだろう･･･

目録業務に必要なこと

- 目録一辺倒ではなく、利用のための目録という視点 (人＞本)
- 利用(閲覧)スタッフの声の反映
- 利用への説明のいらない目録



閲覧担当と目録担当のコミュニケーションが大切


＜大学PR･大学評価＞
魅力ある大学
充実した図書館サービス
研究者
学生
(研究成果)
肥料
(研修･指導)
水
(時間)
愛情
(理解)
目録
目録担当スタッフ
土台
土　壌　(学術情報基盤)

日本の国公私立大学の総受入数

図書は年間で700万冊以上の受入れをし、これらは目録担当スタッフが目録整理している。そのうち、500万冊以上が大学の経費で購入している。

	年間受入数	受入のうち購入
図書	7,253,523冊	5,130,721冊
雑誌	1,390,687種	659,741種

平成17年度末

参照：平成18年度学術情報基盤実態調査結果報告，
文部科学省研究振興局情報課，2008，ｐ28-31．

日本の国公私立大学の総資料費

その図書と雑誌を購入する資料費は年間に600億円近くを投入している。資料費全体の約80%にあたる。

	資料費（千円）
図書	29,630,038
雑誌	28,726,206
電子ジャーナル	9,075,338
その他	6,268,680
計	73,700,262

平成17年度末

参照：平成18年度学術情報基盤実態調査結果報告，
文部科学省研究振興局情報課，2008，ｐ54-55．

日本の国公私立大学の総資料費

年間に図書館の総経費の半分近くが資料費として支出されている。必要とする学生や研究者にその資料の存在を明らかにし、届ける。それが目録の役割である。

目録が役割を果たさない時、資料費は無駄な支出となる。

資料費が占める割合

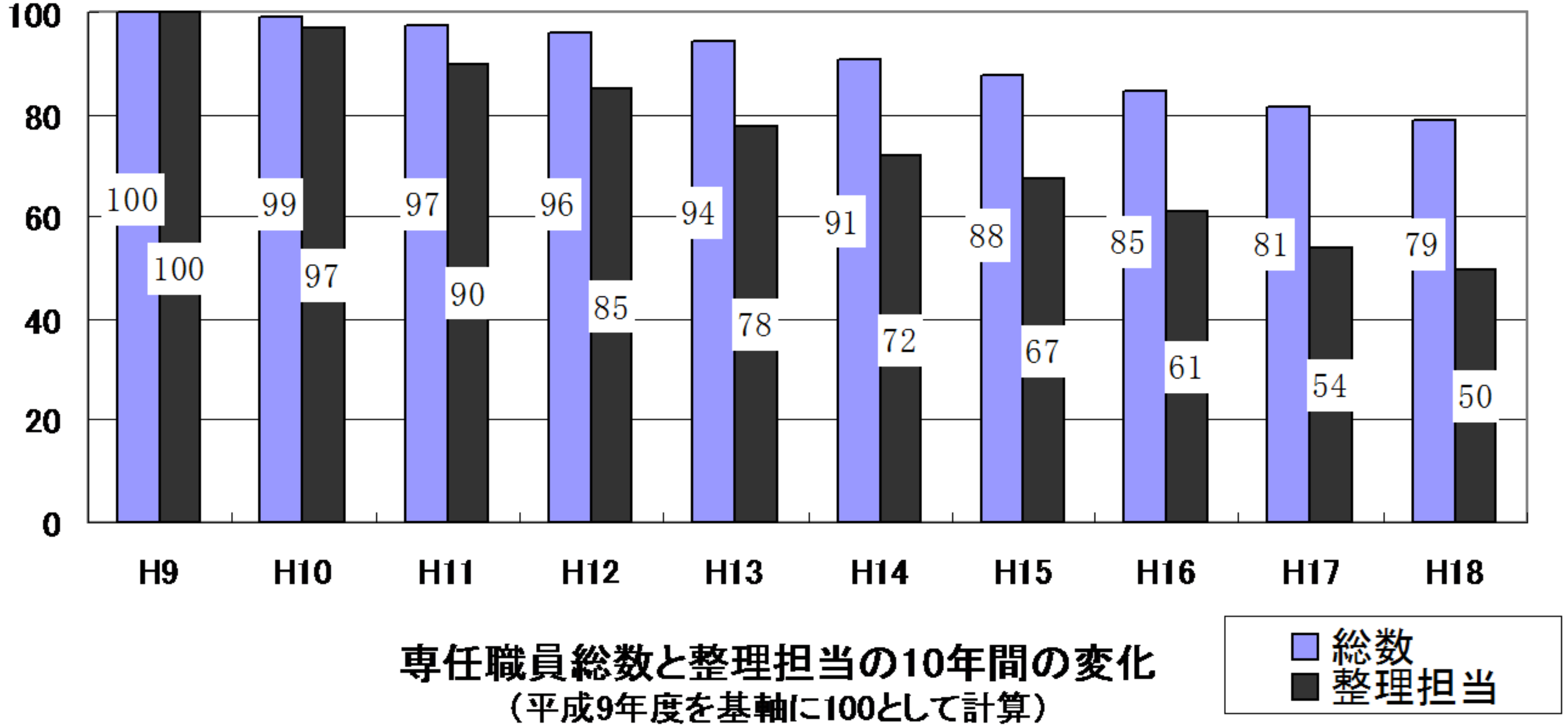
図書館総経費	42.9%
大学総経費	1.2%

平成17年度末

参照：平成18年度学術情報基盤実態調査結果報告，
文部科学省研究振興局情報課，2008，ｐ55．

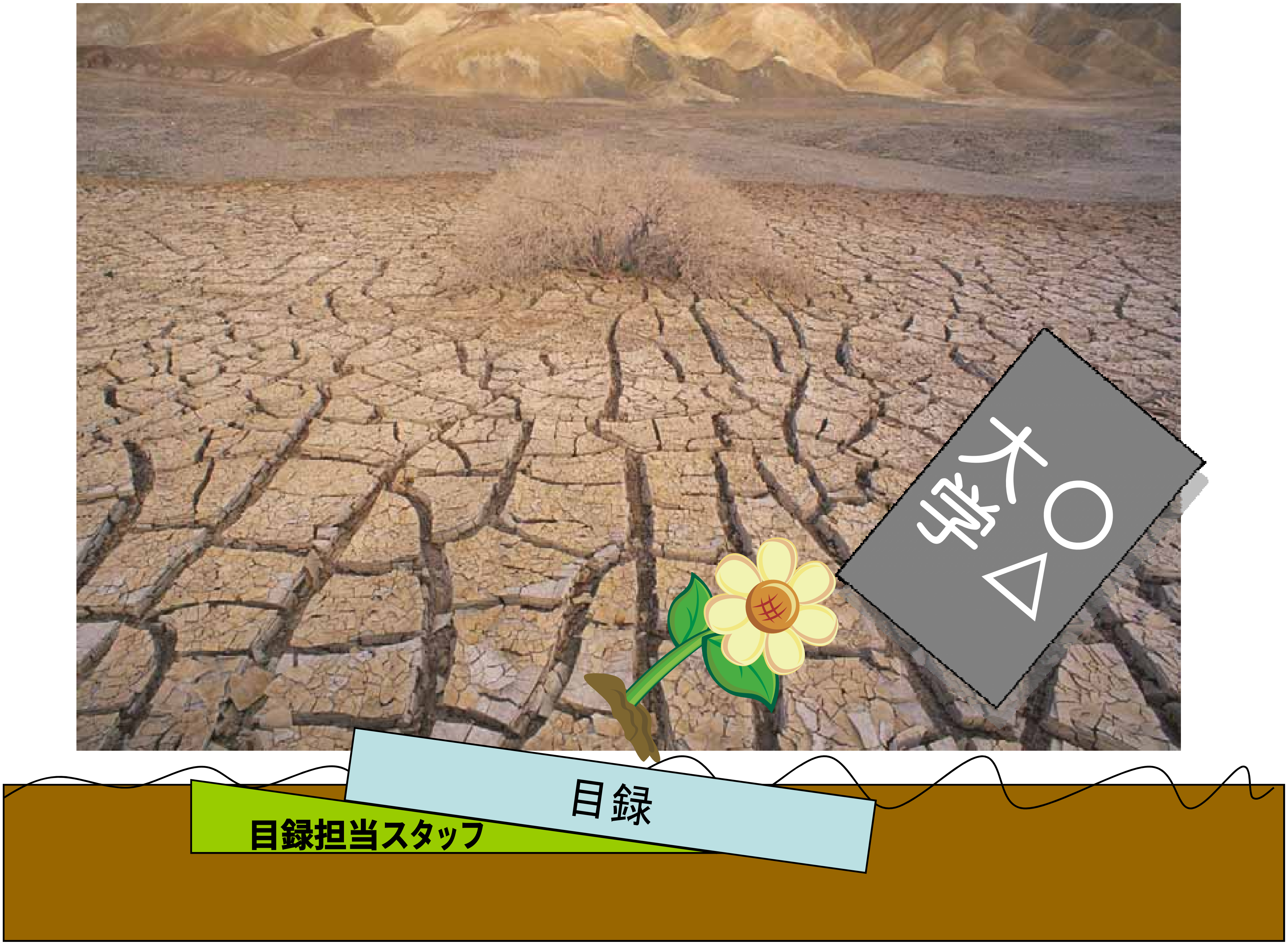
日本の国公私立大学の目録担当者

平成9年度から専任職員総数は平成18年度には79%に削減されているが、そのうちの整理担当は半減している。



専任職員総数と整理担当の10年間の変化
（平成9年度を基軸に100として計算）

参照：**「大学図書館実態調査報告」および**「学術情報基盤**実態**調査結果報告」，文部科学省研究振興局情報課，1998-2008．


〇△大学
目録
目録担当スタッフ

日本の国公私立大学で形成する学術情報基盤

日本全国の大学の蔵書は図書が2億8千万冊以上ある。これは図書館の目録担当スタッフにより整理されている。目録がきちんと整備されていないと、この蔵書が有効利用されない。

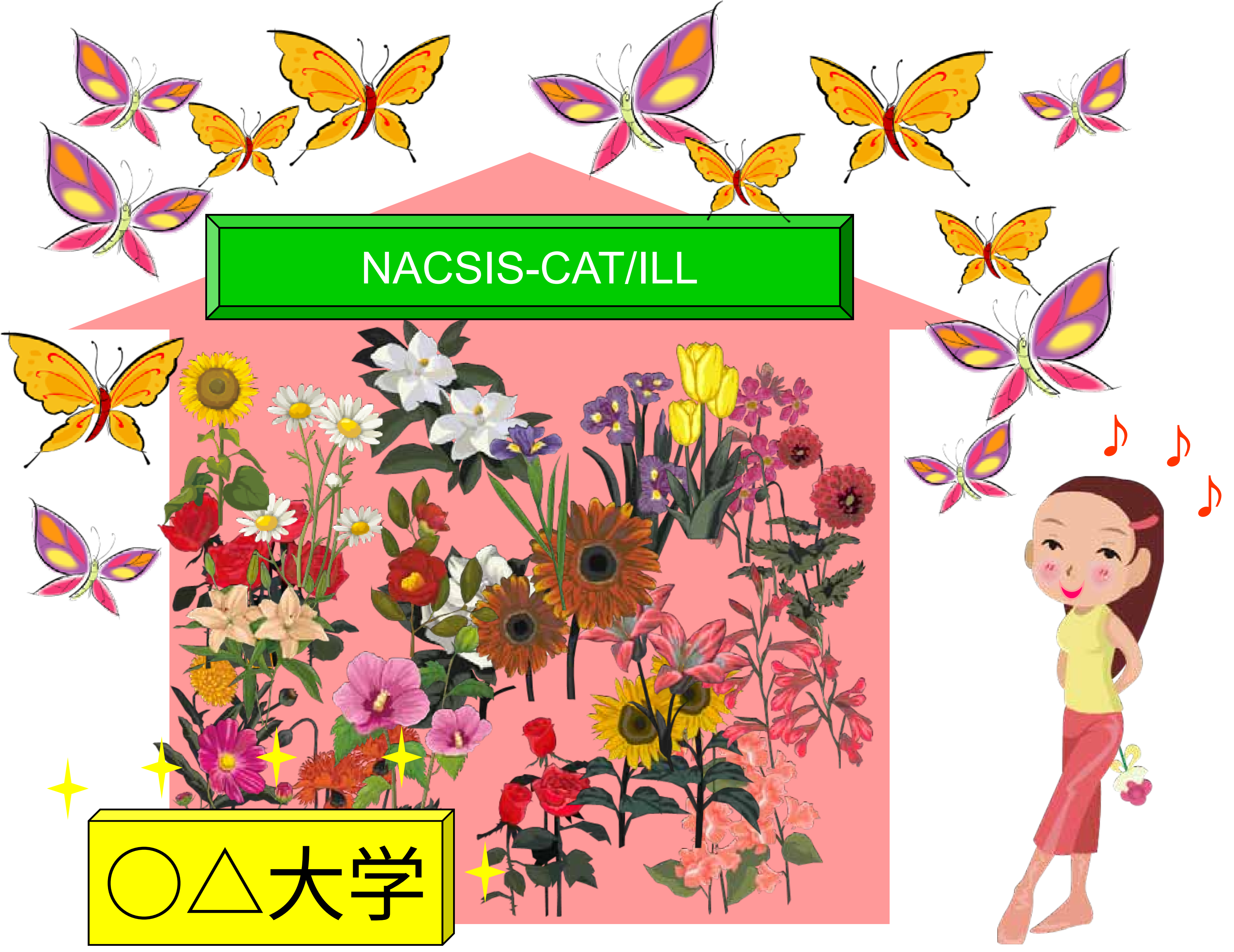
整備された目録は学術情報基盤を形成し、日本の学術の発展へとつながる。

目録担当スタッフが学術発展を現場で支えている。ここに目録担当スタッフの力量が問われる。

	全蔵書数
図書	286,619,528冊
雑誌	3,947,208種

平成17年度末

参照：平成18年度学術情報基盤実態調査結果報告，
文部科学省研究振興局情報課，2008，ｐ26．


NACSIS-CAT/ILL
○△大学

目録の重要性
みなさんはどう考えますか？